

闲情偶寄

〔清〕李渔 著 民辉 译



闲情偶寄

〔清〕李渔 / 著

民辉 / 译



岳麓书社

图书在版编目(CIP)数据

闲情偶寄/(清)李渔著 民辉译 —长沙:岳麓
书社,2000 ISBN 7—80665—025—3

I. 闲... II. ①李... ②民... III. 闲情偶寄-译文
IV. Z429.49

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2000)第 60595

责任编辑 皮朝霞
封面设计 黄朝

闲情偶寄

[清]李渔著
民辉译

岳麓书社出版发行(长沙市河西新民路10号)

湖南省新华书店经销 湖南岳阳印刷厂印刷

2000年6月第1版第1次印刷

开本:850×1168毫米 1/32 印张:22.25

字数:520,000 印数:1—4,000

ISBN7—80665—025—3
I·512 定价:28.00元

如有印装质量问题 请与承印厂调换

厂址:岳阳市东茅岭路52号 邮编:414000

目 录

余怀序	(1)
凡例七则	(5)

词 曲 部

结构第一	(14)
戒讽刺	(23)
立主脑	(29)
脱窠臼	(32)
密针线	(34)
减头绪	(38)
戒荒唐	(40)
审虚实	(44)
词采第二	(47)
贵显浅	(49)
重机趣	(53)
戒浮泛	(56)
忌填塞	(60)
音律第三	(63)
恪守词韵	(78)

凜遵曲谱·····	(80)
鱼模当分·····	(83)
廉监宜避·····	(85)
拗句难好·····	(87)
合韵易重·····	(92)
慎用上声·····	(95)
少填入韵·····	(97)
别解务头·····	(99)
宾白第四·····	(102)
声务铿锵·····	(104)
语求肖似·····	(107)
词别繁减·····	(109)
字分南北·····	(114)
文贵洁净·····	(115)
意取尖新·····	(117)
少用方言·····	(119)
时防漏孔·····	(122)
科诨第五·····	(124)
戒淫褻·····	(125)
忌俗恶·····	(126)
重关系·····	(128)
贵自然·····	(129)
格局第六·····	(132)
家门·····	(133)
冲场·····	(136)

出脚色	(138)
小收煞	(139)
大收煞	(140)
填词余论	(142)

演 习 部

选剧第一	(145)
别古今	(147)
剂冷热	(150)
变调第二	(152)
缩长为短	(153)
变旧成新	(156)
附：《琵琶记·寻夫》改本	(165)
《明珠记·煎茶》改本	(172)
授曲第三	(179)
解明曲意	(181)
调熟字音	(183)
字忌模糊	(187)
曲严分合	(188)
锣鼓忌杂	(189)
吹合宜低	(191)
教白第四	(195)
高低抑扬	(197)
缓急顿挫	(201)

脱套第五	(204)
衣冠恶习	(205)
声音恶习	(207)
语言恶习	(209)
科诨恶习	(212)

声 容 部

选姿第一	(214)
肌肤	(216)
眉眼	(221)
手足	(224)
态度	(229)
修容第二	(236)
盥栉	(238)
薰陶	(247)
点染	(251)
治服第三	(257)
首饰	(260)
衣衫	(267)
鞋袜	(279)
附：《妇人鞋袜辨》	(284)
习技第四	(290)
文艺	(293)
丝竹	(301)

歌舞·····	(307)
---------	-------

居 室 部

房舍第一·····	(318)
向背·····	(324)
途径·····	(324)
高下·····	(325)
出檐深浅·····	(326)
置顶格·····	(327)
瓮地·····	(328)
洒扫·····	(330)
藏垢纳污·····	(333)
窗栏第二·····	(336)
制体宜坚·····	(337)
取景在借·····	(343)
墙壁第三·····	(364)
界墙·····	(365)
女墙·····	(366)
厅壁·····	(368)
书房壁·····	(371)
联匾第四·····	(377)
蕉叶联·····	(379)
此君联·····	(381)
碑文额·····	(383)

手卷额	(384)
册页匾	(385)
虚白匾	(386)
石光匾	(388)
秋叶匾	(389)
山石第五	(391)
大山	(393)
小山	(395)
石壁	(397)
石洞	(399)
零星小石	(399)

器玩部

制度第一	(401)
几案	(403)
椅杌	(407)
床帐	(413)
橱柜	(420)
箱笼篋筭	(422)
古董	(427)
炉瓶	(430)
屏轴	(436)
茶具	(439)
酒具	(442)

碗碟·····	(444)
灯烛·····	(447)
笈筒·····	(453)
位置第二·····	(457)
忌排偶·····	(458)
贵活变·····	(460)

饮 饌 部

蔬食第一·····	(464)
笋·····	(467)
蕈·····	(470)
蕈·····	(471)
菜·····	(471)
瓜、茄、瓠、芋、山药·····	(474)
葱、蒜、韭·····	(475)
萝卜·····	(476)
芥辣汁·····	(477)
谷食第二·····	(479)
饭粥·····	(480)
汤·····	(483)
糕饼·····	(485)
面·····	(486)
粉·····	(489)
肉食第三·····	(491)

猪	(493)
羊	(494)
牛、犬	(495)
鸡	(496)
鹅	(496)
鸭	(498)
野禽、野兽	(499)
鱼	(501)
虾	(504)
鳖	(505)
蟹	(506)
零星水族	(510)
不载果食茶酒说	(512)

种植部

木本第一	(515)
牡丹	(517)
梅	(519)
桃	(522)
李	(524)
杏	(525)
梨	(526)
海棠	(527)
玉兰	(531)

辛夷	(532)
山茶	(533)
紫薇	(534)
绣球	(535)
紫荆	(536)
梔子	(537)
杜鹃、櫻桃	(537)
石榴	(538)
木槿	(539)
桂	(540)
合欢	(541)
木芙蓉	(543)
夹竹桃	(544)
瑞香	(544)
茉莉	(546)
藤本第二	(548)
薔薇	(550)
木香	(551)
酴醾	(552)
月月红	(552)
姊妹花	(554)
玫瑰	(555)
素馨	(555)
凌霄	(556)
真珠兰	(557)

草本第三	(558)
芍药	(559)
兰	(560)
蕙	(563)
水仙	(565)
芙蓉	(567)
罌粟	(569)
葵	(570)
萱	(570)
鸡冠	(571)
玉簪	(572)
凤仙	(573)
金钱	(573)
蝴蝶花	(576)
菊	(577)
菜	(579)
众卉第四	(581)
芭蕉	(582)
翠云	(583)
虞美人	(584)
书带草	(585)
老少年	(585)
天竹	(587)
虎刺	(587)
苔	(588)

萍	(588)
竹木第五	(590)
竹	(591)
松柏	(593)
梧桐	(595)
槐榆	(596)
柳	(597)
黄杨	(599)
棕榈	(600)
枫、柏	(601)
冬青	(602)

颐养部

行乐第一	(603)
贵人行乐之法	(606)
富人行乐之法	(608)
贫贱行乐之法	(611)
家庭行乐之法	(615)
道途行乐之法	(618)
春季行乐之法	(621)
夏季行乐之法	(623)
秋季行乐之法	(625)
冬季行乐之法	(627)
随时即景就事行乐之法	(629)

睡	(630)
坐	(636)
行	(637)
立	(638)
饮	(639)
谈	(641)
沐浴	(642)
听琴观棋	(643)
看花听鸟	(645)
蓄养禽鱼	(646)
浇灌花木	(650)
止忧第二	(652)
止眼前可备之忧	(653)
止身外不测之忧	(654)
调饮啜第三	(656)
爱食者多食	(657)
怕食者少食	(658)
太饥勿饱	(658)
太饱勿饥	(659)
怒时哀时勿食	(660)
倦时闷时勿食	(661)
节色欲第四	(662)
节快乐过情之欲	(665)
节忧患伤情之欲	(666)
节饥饱方殷之欲	(667)

节劳苦初停之欲	(667)
节新婚乍御之欲	(668)
节隆冬盛暑之欲	(670)
却病第五	(672)
病未至而防之	(673)
病将至而止之	(674)
病已至而退之	(675)
疗病第六	(678)
本性酷好之药	(682)
其人急需之药	(684)
一心钟爱之药	(686)
一生未见之药	(688)
平时契慕之药	(689)
素常乐为之药	(691)
生平痛恶之药	(692)

余怀序

[原文]

《周礼》一书，本言王道，乃上自井田军国之大，下至酒浆屣屨之细，无不纤悉具备，位置得宜，故曰：“王道本乎人情。”然王莽一用之于汉而败，王安石再用之于宋而又败者，其故何哉？盖以莽与安石皆不近人情之人，用《周礼》固败，不用《周礼》亦败。《周礼》不幸为两人所用，用《周礼》之过，而非《周礼》之过也。苏明允曰：“凡事之不近人情者，鲜不为大奸慝。”古今来大勋业、真文章，总不出人情之外。其在人情之外者，非鬼神荒忽虚诞之事，则诌张伪幻猥獠之辞，其切于男女饮食日用平常者，盖已希矣。

余读李子笠翁《闲情偶寄》而深有感也。昔陶元亮作《闲情赋》，其间为领、为带、为席、为履、为黛、为泽、为影、为烛、为扇、为桐，缠绵婉变，聊一寄其闲情，而万虑之存，八表之憩，即于此可类推焉。今李子《偶寄》之书，事在耳目之内，思出风云之表，前人所欲发而未竟发者，李子尽发之；今人所欲言而不能言者，李子尽言之。其言近，其旨远，其取情多而用物闲，谬谬乎，绵绵乎，汶者读之旷，僂者读之通，悲者读之愉，拙者读之巧，愁者读之忙且舞，病者读之霍然兴。此非李子《偶寄》之书，而天下雅人韵士家弦户诵之书也。吾知此书出，将不胫而走。百济之使，维舟而求；鸡林之贾，辇金而购矣。而世之腐儒，犹谓李子不为经国之大业，而